

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

1 政策－施策

都市像	01 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市		
政策	03 平和交流・男女共同参画		
施策	02 戦争の歴史をみんなが伝えることができる		
めざす内容	啓発機会や情報の提供を通して、「慰霊の日(6月23日)」や「十・十空襲」、「奇跡の1マイル」など先の大戦と復興の歴史の経験を継承し、平和を希求する市民の思いとして受け継いでいくことをめざします。		
施策の取り組みの柱と方針			
<p>1 県内外の都市との連携による平和学習の推進 ○長崎などの平和発信都市の児童生徒との交流を通して、子どもたちに戦争や原爆の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶ機会を提供します。</p> <p>2 市民と協働した新たな平和学習事業の検討 ○那覇市の戦争資料の整理・展示をすすめるとともに、市民団体などによる平和展への後援など、民間による平和関連事業への支援をおこないます。 ○平和学習などにも活用できる、市内の戦跡のガイドコースを設定するとともに、関係するNPO団体などとの協働を推進します。 ○新たな平和学習事業の検討と充実のためにNPO団体などとの協力をすすめます。</p>			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	平和交流・男女参画室	関連課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
10 平和事業の充実	数	3 (2007)	3	5	10	戦争の体験を伝え、平和の尊さを広める学習機会の実施状況をみる指標です。平和交流・男女共同参画室において主催・共催する平和学習事業の充実を図ります。
	取得方法または出典など	業務取得。(平和交流・男女共同参画室が主催・共催する平和学習に関する事業数)				
H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由	①核兵器廃絶を求める団体への参加事業、②那覇長崎平和交流事業、③石川真生写真展を行った。					

3 今後の展開方針

主催事業の予算化も厳しいので、民間団体等と連携しながら、充実に努めていく。
